

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第251号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年12月29日 09時16分ごろ	
発生場所	千葉県千葉市千葉港 川崎町所在の企業の専用岸壁付近 (概位 北緯35°34.4′ 東経140°06.6′)	
事故等調査の経過	平成22年12月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 <small>ZHONG HUI</small> (パナマ共和国籍)、2,962トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 9575369 (IMO番号)、SHANGHAI ZHONGHUI SHIPPING CO.,LTD</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、中華人民共和国籍、締約国資格受有者承認証 船長免状 (パナマ共和国発給)</p>	
死傷者等	なし	
損傷	船首船底擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか12人が乗り組み、喫水が船首約1.8m、船尾約3.6mの空船の状態で千葉港の企業の専用岸壁から、投入していた右舷錨を揚錨しながら離岸し、右舷側から風を受けて右回頭中、平成22年12月29日09時16分ごろ、前進約3ノット(kn)で対岸の浅所に乗り揚げた。</p> <p>11時18分ごろ、本船は、タグボートにより離礁した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 西北西、風力 4、視程 約20km</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期、満潮時刻 10時27分、潮高 約171cm</p>	
その他の事項	<p>本船のAIS情報の記録によれば、本船は、09時16分23秒に対地速度0.4knとなった。</p> <p>本船は、着岸時に右舷錨鎖3節を使用していた。</p> <p>本船は、バウスラスターを備えていなかった。</p> <p>船長は、揚錨後、後進で広い水域に出たのち、そこで反転して出航する予定であったが、離岸後、風圧により船尾が岸壁に接近したため、後進せず、前進して回頭することとした。</p> <p>船長は、タグボートを使用しなかった。</p> <p>船長は、12月20日に船長として乗船し、日本の港に入港するのは初めてであった。</p> <p>本船が着岸していた岸壁付近の余裕水域は、本船船首側は約120m、右舷側は約330mであり、対岸から約50m沖側に水深2m以浅の浅所があった。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	本船は、千葉港の企業の専用岸壁において、空船の状態で右舷側に風力4の風を受ける状況下、

	<p>タグボートの補助を得ずに離岸作業中、風圧により右回頭が妨げられたことから、対岸の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>本船は、空船の状態であったことから、風圧を受けやすかった可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、千葉港の企業の専用岸壁において、空船の状態です舷側に風力4の風を受ける状況下、タグボートの補助を得ずに離岸作業中、風圧により右回頭が妨げられたため、対岸の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>